

2月10日 各委員に持ち回りにより聴取した意見

修正点など	その他
<p>○基本目標4の基本指標 1人以上というのは表現がよろしくない。社会移動による人口の増加を掲げるのであれば転入超過で良い。あえて数字で示す必要はない。</p>	<p>○ふるさと納税については、土岐市のPRという観点から、ぜひ実施してほしい。</p> <p>○ひきこもりなど社会との関わりが希薄な人への支援にも力を入れて欲しい</p> <p>○こどもの読書の目標値を上げたのは良い。力を入れていくべき事業であると思う。</p> <p>○目標値を「以上」「以下」で表現したのは良い。あくまでも2024年時点での通過点であり、目指すべきところは、もっと上だと思うので。</p> <p>○奨学生利用制度を、目標から外したのは良い。そもそもこれを増やすことを目標とすべきではなく、制度としてどれだけこたえられるかということ。ファミリーサポートセンターの利用件数についても同じである。</p> <p>○学校が楽しいと思える割合を、どちらかといえば楽しい、も含めたことは良い。やはり見る人にとって、分かりやすいものが良い。</p> <p>○自治会加入率については、年々低下している中で、現状よりも高くするというのは良い。やはり、自治会という組織は大事である。食い止める必要がある。どうしても役職などの関係で、脱退する人もいると思う。過度な負担をかけないようにすることも必要である。加入率が下がると、住民の総意という捉え方捉え方をしにくくなる。</p> <p>○土岐ふるさと塾は良い。こういった取り組みにより、市に愛着が生まれ、就職などで、いったんは市外へ転出した人でも、結婚や子供が生まれたタイミングなど、帰ってきてくれるものだと思う。</p> <p>○横断目標1については、国が言うところの「ひと」は子どもの出生に特化しており、国の戦略と合わせて、市も同じ形にすることを理解した。</p> <p>○国も2060年に、出生率を2.07に設定しているが、現実はなかなか難しいのではないかと思う。市も同様に2060年で2.07に設定しているが、国にあわせていると理解した。</p>